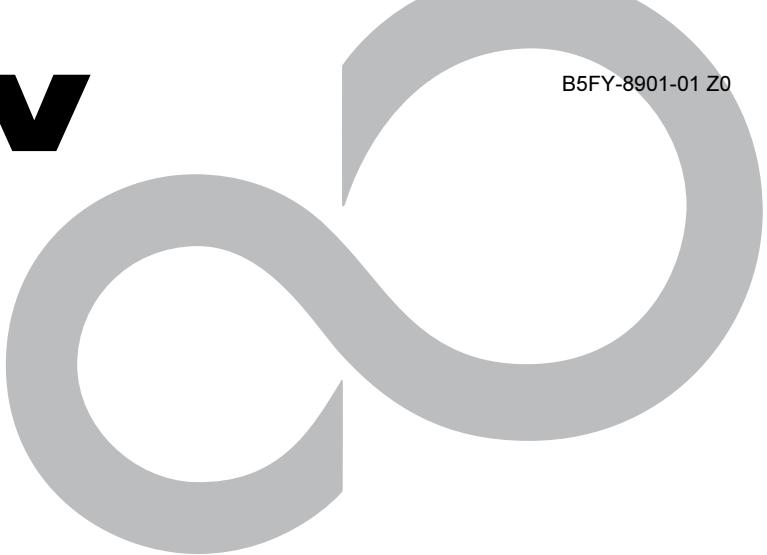


FMV

B5FY-8901-01 Z0



FMV シリーズ

オンラインマニュアル

カラー液晶ディスプレイ - 22 ワイド

(VL-220SSW)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2008年10月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼するときは、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください。)
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造終了後5年です。
- 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

VCCI適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパソコンの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

PCグリーンラベルについて

本製品はPC3R『PCグリーンラベル制度』の審査基準(2008年度版)を満たしています。

詳細は、WEBサイト<http://www.pc3r.jp>をご覧ください。



当社は、国際エネルギー・スタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギー・スター・プログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品は電気・電子機器の特定の化学物質（鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質）の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記URLをご覧ください。
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/>

■警告表示について

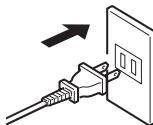
本マニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみの発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行2極プラグ(125V15A)用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
VL-220SSW	本製品	
Windows Vista® Ultimate	Windows Vista	Windows
Windows Vista® Home Premium		
Windows Vista® Home Basic		
Windows Vista® Business		
Windows Vista® Enterprise		
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	
Microsoft® Windows® XP Home Edition		

■警告ラベル/注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESA、DDCはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2008

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 液晶ディスプレイ本体

⚠ 警告



- ・本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。



- その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.42）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.42）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特に子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.42）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けないでください。

そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.42）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
- 誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。
- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。
- 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。
- 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。
- 添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。



⚠ 注意



- 本製品を布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

カラー液晶ディスプレイ・22ワイド(VL-220SSW) オンラインマニュアル



- ・本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や作業時間中に小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。
 - ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
 - ・なるべく画面を下向きに見るよう調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■電源コード



- ・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、壁のコンセント(AC100V)またはパソコン本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→ P.42）、またはご購入元にご連絡ください。



- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- 電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。

ほこりがたまつままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。



- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差しこみ、不完全な接続状態で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

△ 注意



- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

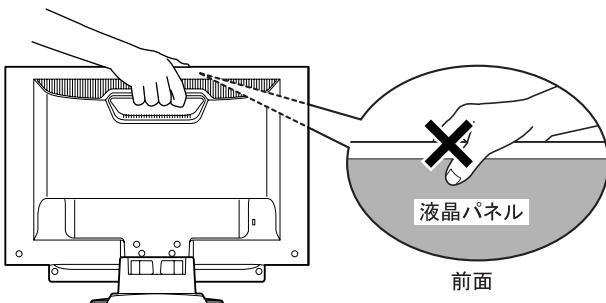
火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などをを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源プランの選択」ウィンドウ(Windows Vista)、または「電源オプションのプロパティ」ウィンドウ(Windows XP)で行います。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。また、スクリーンセーバーの設定については、Windowsのヘルプをご覧ください。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
- これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

カラー液晶ディスプレイ・22ワイド(VL-220SSW) オンラインマニュアル

- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて
 - 衝撃を与える、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ひつかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面に傷が付く原因になります。
 - スピーカー前面を強い力で押さないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
 - 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・ディスプレイの設置、移動について
 - 次の図のように、本製品の取っ手に指をしっかりと入れて持ってください。
不安定な場合は、取っ手ではなく、画面下部を両手で持ってください。
 - 指が液晶パネルに触れないようご注意ください。
強く押さえると、破損の原因となることがあります。
 - 取っ手に指を入れるときは、爪などを傷つけないよう充分ご注意ください。



- ・本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しています。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- ・画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。
- ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
「10日常のお手入れ」（→ P.43）
- ・本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発する機器を使用すると、本製品の画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・本製品は電源を切っても待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ディスプレイケーブル、電源ケーブルなどの接続されている各種ケーブルを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

目次

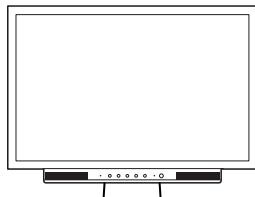
はじめに	1
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
1 製品を確認してください	11
2 本製品の特長	12
3 各部の名称と機能	14
画面の角度調節について	17
4 液晶ディスプレイの接続	18
接続の前に	18
本製品を設置する	18
ベーススタンドを取り付ける	19
パソコン本体と接続する	20
盗難防止について	22
アーム、壁掛けキットの取り付け方法	22
スタンドの取り付け方法	24
5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストールについて	25
初めて電源を入れるとき	25
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	25
6 「富士通モニタユーティリティ」について	26
「オート画質モード切り換え」とは	26
「モニタの基本設定」とは	26
「富士通モニタユーティリティ」をインストールする	27
7 液晶ディスプレイのセットアップ	28
AUTO セットアップアクション機能について	28
「エコモード」機能について	29
画質を選ぶ	30
細かい設定を行う	31
画質モードと調整項目の組み合わせ	34
入力切り換えについて	34
8 省電力機能について	35
9 こんなときには	36
画面が表示されない	36
画面がおかしい	37
画面調整ができない	40
音が聞こえない／変な音が聞こえる	41
お問い合わせ先	42
10 日常のお手入れ	43
清掃する	43

カラー液晶ディスプレイ - 22 ワイド (VL-220SSW) オンラインマニュアル

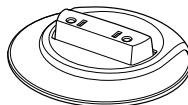
11	リサイクルについて	44
12	有寿命部品について	45
13	仕様	46
	本体仕様	46
	標準表示仕様	47
	コネクタ仕様	48
	外形図	49

1 製品を確認してください

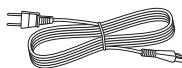
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあった場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



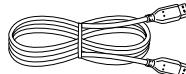
液晶ディスプレイ本体



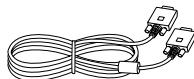
ベーススタンド



電源ケーブル



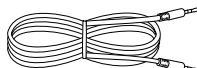
USB ケーブル



アナログケーブル



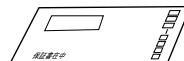
デジタルケーブル



オーディオケーブル



取扱説明書



保証書

2 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

- ・22型ワイドの大画面です。
- ・1680×1050ドットの高解像度で精細に表示できます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、また奥行きも少ないため、ワークスペースを広く使えます。

2 豊富な画質モード

「目にやさしいモード」をはじめ、sRGB 対応などさまざまな使用状況に適した各種画質モードを搭載しています。

POINT

- ▶「目にやさしいモード」とは、長時間ディスプレイを見続ける人のために表示画面の明るさを落とし、目への負担を減らして、目を疲れにくくした画質モードのことです。
- ▶「sRGB」とは、ディスプレイ/スキャナ/デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンタで出力するときの色を合わせることを目的とした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

「目にやさしいモード」および「sRGB」の設定については、「細かい設定を行う」(→P.31)をご覧ください。

3 便利なソフトウェア「富士通モニタユーティリティ」に対応

- ・オート画質モード切り換えが可能
アプリケーションごとに最適な画質モードを登録すると、登録したアプリケーションを起動したときに自動的に画質を切り換えることができます。
- ・モニタの基本設定が可能
ディスプレイの明るさやカラーなどの設定を、パソコン本体から変更できます。

POINT

- ▶本機能を有効にするには、「富士通モニタユーティリティ」のインストールが必要です。詳しくは、「「富士通モニタユーティリティ」について」(→P.26)をご覧ください。

4 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度(モード)でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度(モード)を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

5 エコモード機能

周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、周囲の明るさに加え表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の3モードを搭載しています。

本機能を使用すると、最大約39%の消費電力を低減できます。

6 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

7 多彩な設置方法

本製品はVESAのFDMI規格に対応しています。FDMI規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

 **POINT**

▶「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、壁掛けキットを取り付けるインターフェースの略語です。インターフェースとしては75mm×75mmと100mm×100mmの2種類があります。本製品では100mm×100mmを使用します。

8 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



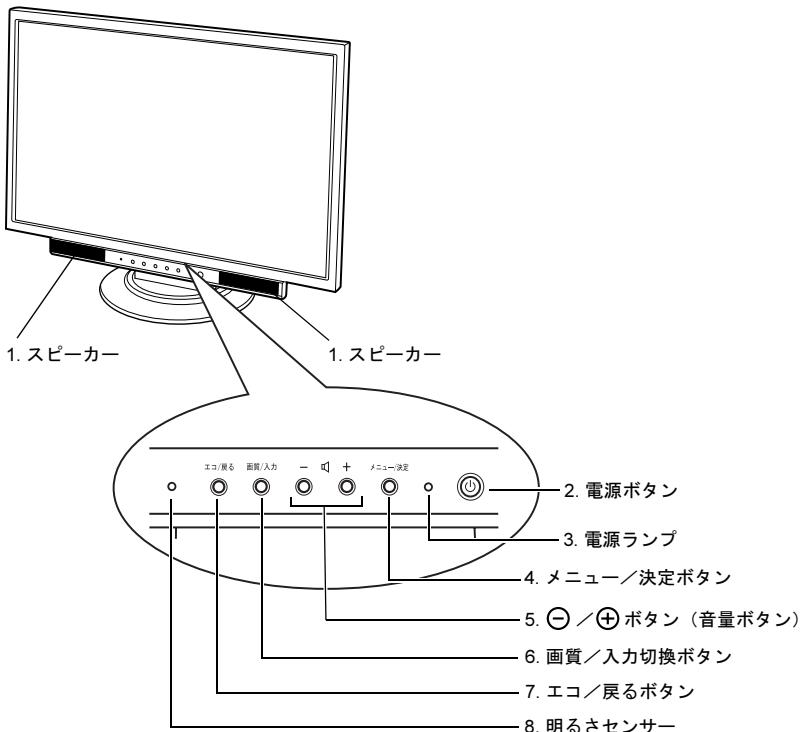
いつも地球を見守っている

9 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。パソコン本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って、ディスプレイの明るさやコントラストの調整をパソコン本体で設定できます。

3 各部の名称と機能

■ 前面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 電源ボタン (P)

本製品の電源オン／オフを切り替えます。

3 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能について」(→ P.35)

4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、調整値を保存するときに使用します。

「細かい設定を行う」(→ P.31)

5 ⊖／⊕ ボタン (音量ボタン) (LOUD)

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。メニュー画面が表示されていないときは液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。

6 画質／入力切換ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。

「画質を選ぶ」(→ P.30)

また、入力切り換えをするときに使用します。

「入力切り換えについて」(→ P.34)

7 エコ／戻るボタン

エコモードのオフ／オート1／オート2／オンを切り替えます。

「「エコモード」機能について」(→ P.29)

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

8 明るさセンサー

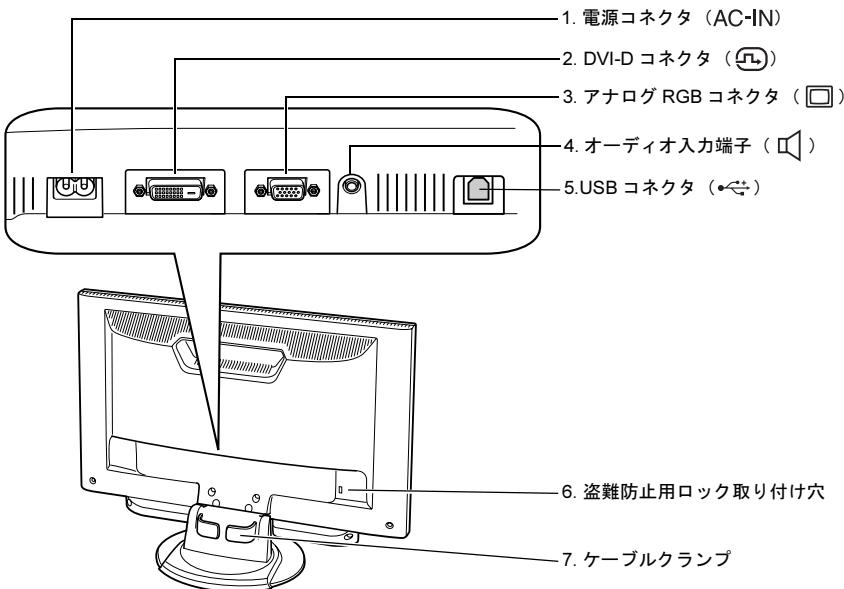
エコモードを「オート1／オート2」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

重要

▶ エコモードを「オート1／オート2」に設定した場合、物を置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

明るさセンサーの前には物を置かないでください。

■ 背面



1 電源コネクタ (AC-IN)

添付の電源ケーブルを接続します。

2 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) (DVI)

パソコン本体と添付のデジタルケーブルで接続します。

POINT

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本製品は、HDCP 技術を用いてコピー・プロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

3 アナログ RGB コネクタ (RGB)

パソコン本体と添付のアナログケーブルで接続します。

4 オーディオ入力端子 (AUDIO)

パソコン本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

5 USB コネクタ (USB)

パソコン本体と添付の USB ケーブルで接続します。

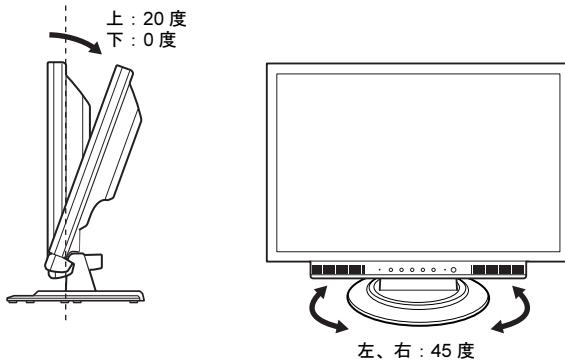
6 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

7 ケーブルクランプ

画面の角度調節について

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。



(イラストは機種や状況により異なります)

⚠ 注意

- ・ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

4 液晶ディスプレイの接続

接続の前に

- すべての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。

POINT

- パソコン本体への接続については、パソコン本体のマニュアルもご覧ください。
- 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、パソコン本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」(→ P.47)

本製品を設置する

△ 注意

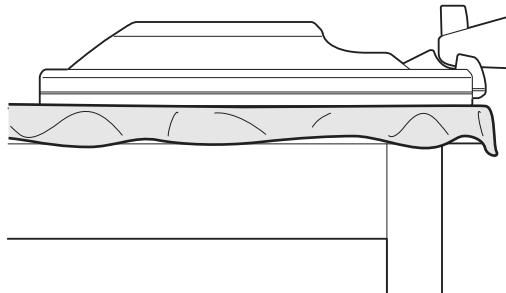
- ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。
- 本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
- 本製品を窓際に設置する場合は、液晶パネルに直接太陽光が当たらないようにしてください。
- テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

POINT

- VESA FDMI 規格対応のアームや壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アーム、壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.22) をご覧ください。

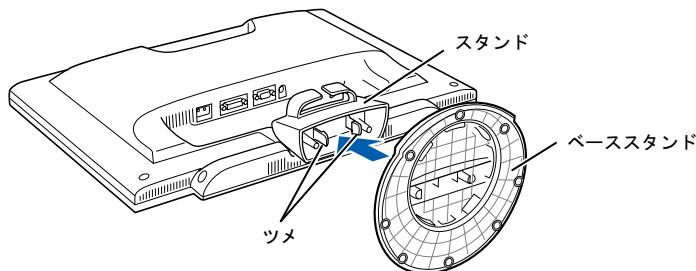
ベーススタンドを取り付ける

- 1** カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



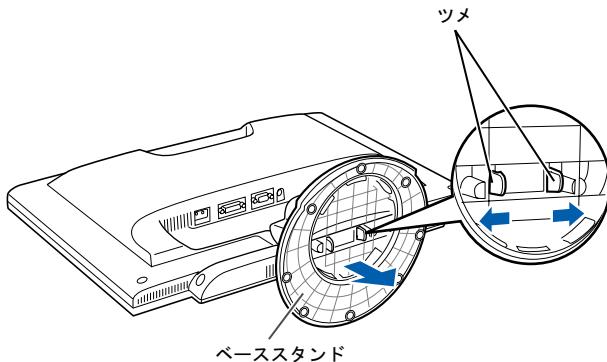
- 2** ベーススタンドの突起をスタンドに差し込むようにして、カチッと音がするまで押し込みます。

左右 2 つのツメが、確実にはめ込まれていることを確認してください。



POINT

- ▶ ベーススタンドを取り外す場合は、次の図のように、ベーススタンド裏面のツメを左右に広げながらベーススタンドを手前に引きます。



パソコン本体と接続する

1 ケーブルを接続します。

■ パソコン本体にアウトレットがない場合

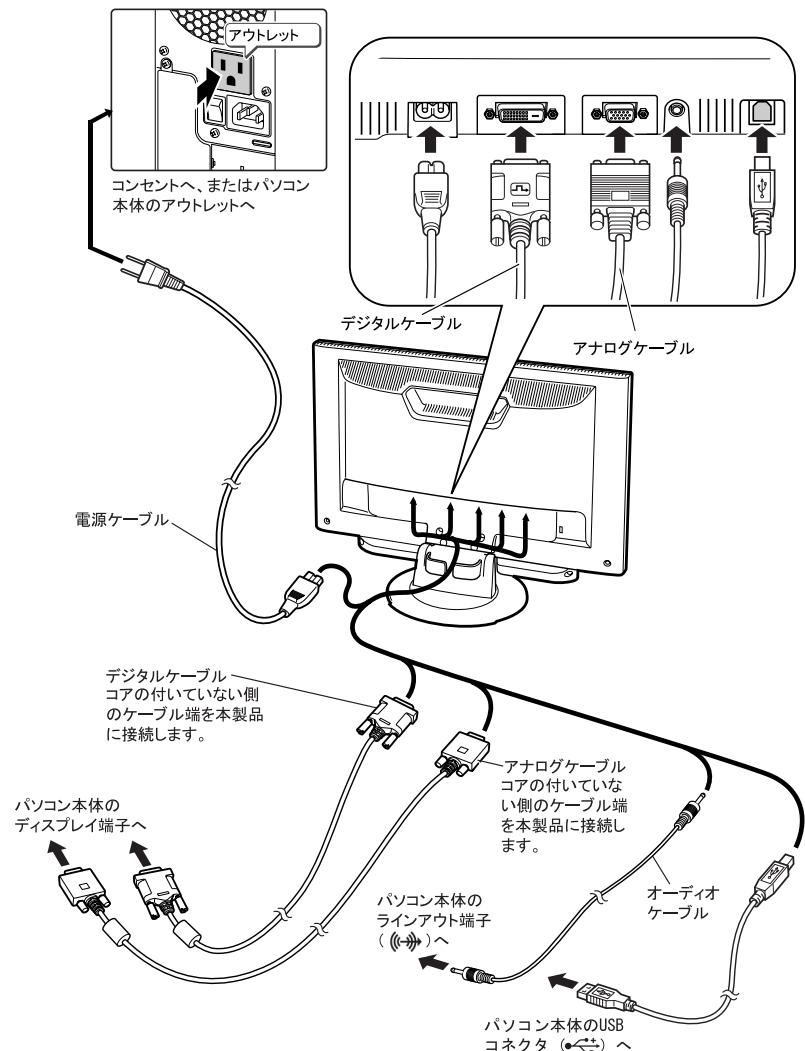
電源ケーブルをコンセントに接続します。

■ パソコン本体にアウトレットがある場合

電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続します。

本製品の電源がパソコン本体の電源と連動して入ります。

初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。ケーブル接続後、本製品に一度電源を入れると、以後はパソコン本体の起動にあわせて電源が入ります。パソコン本体を起動するたびに本製品に電源を入れる必要はありません。



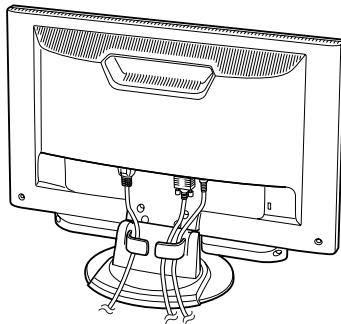
⚠ 注意

- ・本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- ・万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

POINT

- ▶ USB ケーブルを接続すると、パソコンからディスプレイの設定などを制御するソフトウェア「富士通モニタユーティリティ」(→ P.26) を使用することができます。

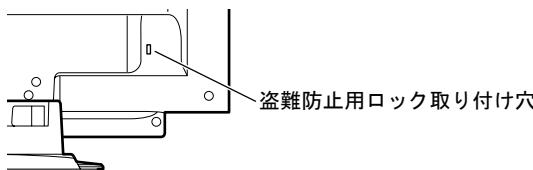
2 本製品背面のケーブルクランプ部にケーブルを通します。



盗難防止について

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



アーム、壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームや壁掛けキットを取り付けることができます。

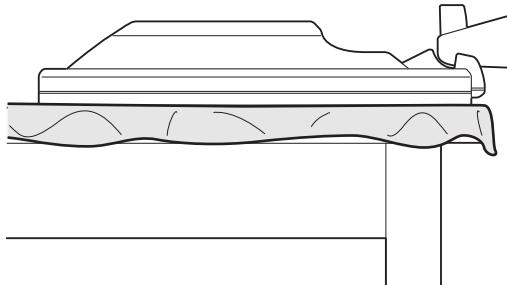
ドライバーをご用意ください。

※ 重要

- ▶ 本製品に取り付けるアーム、壁掛けキットはVESA FDMI規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアーム、壁掛けキットは次のものになります。
 - ・取り付ける部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm のもの。
 - ・M4 × 10mm のネジで、取り付けができるもの。
 - ・14kg の重さに耐えられるもの。
- ▶ 取り付け方法およびアーム、壁掛けキットの設置に際しては、アーム、壁掛けキットの取扱説明書もご覧ください。
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアーム、壁掛けキットに添付されているもの (M4 × 10mm) を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アーム、壁掛けキットを使用する場合は、次の範囲でご使用ください。
 - ・回転方向：時計回り（右回転）0度（通常状態）～90度
 - ・取り付け角度：上方向 20度 下方向：0度

1 接続されているケーブルをすべて取り外します。

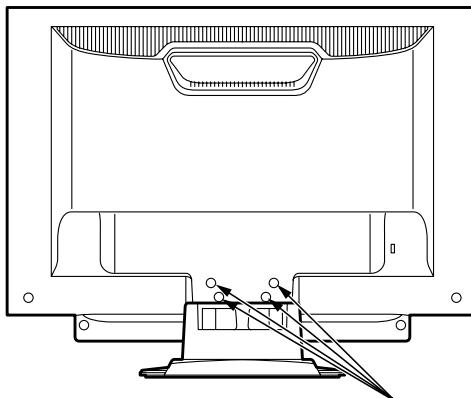
「パソコン本体と接続する」手順 1 (→ P.20)

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた下図のような安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。**3 スタンドを取り外します。**

ネジ (4ヶ所) を外した後、スタンドを取り外します。

△ 注意

- ・スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



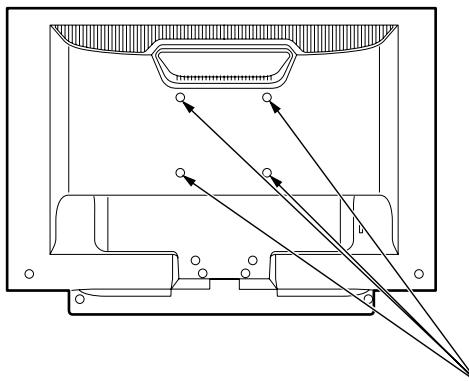
ドライバーでネジを外します。(4ヶ所)

POINT

- ▶取り外したスタンド、ネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。

4 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームや壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アーム、壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

5 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「パソコン本体と接続する」手順1（→ P.20）

重要

▶アーム、壁掛けキットを設置するときは、アーム、壁掛けキットの取扱説明書をご覧ください。

POINT

▶アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

スタンドの取り付け方法

- アーム、壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アーム、壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.22）の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストールについて

初めて電源を入れるとき

パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバ (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ 本製品の INF ファイルは、Windows Vista および Windows XP でインストールできます。他の OS でご使用の場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新のINFファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバ (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) よりダウンロードできます。

「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

6 「富士通モニタユーティリティ」について

富士通モニタユーティリティは、アプリケーションごとに画質モードを登録し、そのアプリケーションを起動すると自動的に登録された画質モードに切り換えたり、ディスプレイのボタンを使わずにユーティリティでディスプレイの明るさやカラー調整などを設定したりすることのできるソフトウェアです。

「オート画質モード切り換え」と「モニタの基本設定」の2つの機能があります。

POINT

- ▶「富士通モニタユーティリティ」を使用するには、本製品とパソコン本体をUSBケーブルで接続する必要があります。

「オート画質モード切り換え」とは

「オート画質モード切り換え」とは、登録したアプリケーションを表示したときに、自動で設定した画質に切り換える機能です。

例えば、CADのアプリケーションに「目にやさしいモード」、写真ビューアーのアプリケーションに「ピクチャーモード」を登録すると、CADは「明るさを落とした目の負担を軽減した画質」、写真是「鮮明な色に見せる画質」に自動的に切り換わります。

POINT

- ▶アプリケーションは10個まで登録でき、登録したアプリケーションごとに画質モードを設定できます。
- ▶詳しくは、「富士通モニタユーティリティ」のマニュアルをご覧ください。

「モニタの基本設定」とは

「モニタの基本設定」とは、ディスプレイのボタンを操作せずに、ユーティリティでディスプレイの設定を変更できる機能です。

パソコン本体（マウス操作）でディスプレイの画質選択や明るさ、カラー調整などの細かい設定を感覚的に操作することができます。

またアナログ信号を入力している場合、自動調整機能により、パソコンの機種など機器の違いによらずに意図したとおりの色を表示したり、正確な位置で表示したりできます。

POINT

- ▶詳しくは、「富士通モニタユーティリティ」のマニュアルをご覧ください。

「富士通モニタユーティリティ」をインストールする

本装置は「富士通モニタユーティリティ Ver.1.1」以降に対応しています。

パソコン本体の機種によっては、「富士通モニタユーティリティ」がプレインストールされています。

「富士通モニタユーティリティ」のバージョンが古い場合やプレインストールされていない場合は、最新版を富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/display/>) からダウンロードしてお使いください。液晶ディスプレイラインナップにある「富士通モニタユーティリティダウンロード」ボタンをクリックすると、「富士通モニタユーティリティ」のページが表示されます。そこからダウンロードしてください。

インストールについては、「富士通モニタユーティリティ」の「readme.txt」をご覧ください。使い方については、「富士通モニタユーティリティ」に添付のマニュアルをご覧ください。

7 液晶ディスプレイのセットアップ

本製品では、次の方法で画質の設定が行えます。

- ・ディスプレイ本体のボタン操作による設定
- ・「富士通モニタユーティリティ」による設定

設定内容は共に連動しており、本製品で設定した内容は「富士通モニタユーティリティ」に、「富士通モニタユーティリティ」で設定した内容は本製品に、それぞれ反映されます。

本書では、ディスプレイ本体のボタン操作による設定を紹介します。

「富士通モニタユーティリティ」については、「富士通モニタユーティリティ」について(→P.26)を、「富士通モニタユーティリティ」のインストールや設定については、「富士通モニタユーティリティ」に添付の「readme.txt」およびマニュアルをご覧ください。

AUTO セットアップアクション機能について

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置・水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めてディスプレイを本体に接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

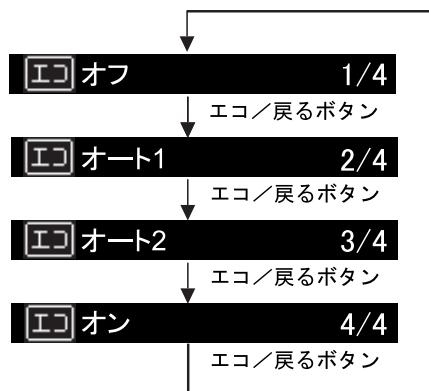
- ▶ AUTO セットアップアクションは本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します(→P.47)。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、「コマンドプロンプト」のような黒っぽい表示では動作しない場合があります。その場合は画面全体を白っぽい表示にしてからメニュー画面で自動調整を行ってください。(→P.31)
 - ・表示画面を白い画面にするには
(Windows Vista の場合)
 1. 「個人設定」で「デスクトップの背景」を選択します。
 2. 「画像の場所」の「純色」を選択します。
 3. カラーパレット選択画面の中から白色を選択して、「OK」をクリックします。
 - ・表示画面を白い画面にするには
(Windows XP の場合)
 1. 「画面のプロパティ」で「デスクトップ」タブをクリックします。
 2. 「色」の「▼」をクリックして白色を選択してください。
 3. 「背景」は「なし」をクリックしてください。
- ▶ デジタルケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

「エコモード」機能について

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「エコモード」機能が搭載されています。

「エコモード」には「オフ」「オート1」「オート2」「オン」の4種類があり、通常時（スピーカーを使用していない状態）の消費電力を最大で約39%低減することができます。

エコ／戻るボタンを1回押すと、現在のエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



エコモード	機能
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさのままで画面を表示します。
オート1	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、周囲にあわせて画面の明るさを下げることで消費電力を低減します。
オート2	明るさセンサーに加え、表示する画像によって画面の明るさを下げることにより、消費電力を低減します。
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少くなります。

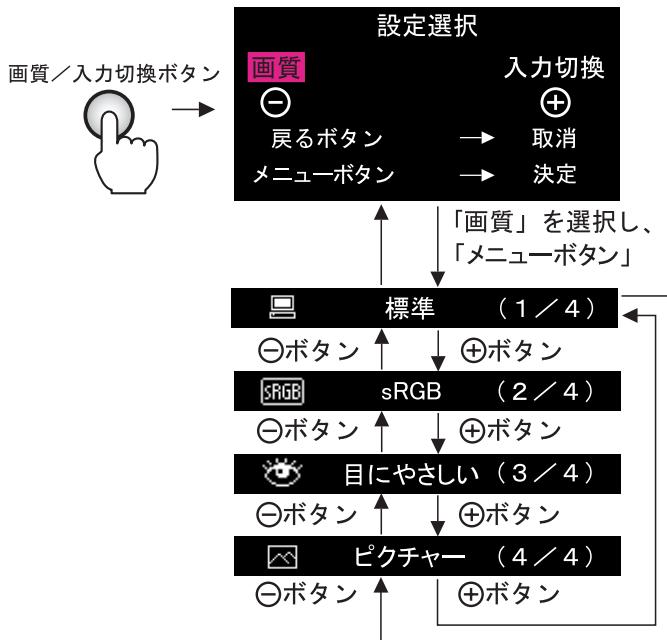
重要

- ▶ 購入時は、エコモードが「オフ」に設定されています。
 - ▶ エコモード「オン」の状態で「明るさ」を調整すると、エコモードは「オフ」に設定されます。
 - ▶ エコモードを「オート1」「オート2」に設定した場合、物を置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検出できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。明るさセンサーの前には物を置かないでください。
 - ▶ 明るさセンサーについては、「各部の名称と機能」(→ P.14) を参照してください。

画質を選ぶ

画質／入力切換ボタンを押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質／入力切換ボタンを押すと、「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けて \ominus/\oplus ボタンを押すと、次のように選択が変わります。



3秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準モード	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
sRGB モード	パソコンの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
目にやさしいモード	長時間ディスプレイを使用する人に適したモードです。画面の明るさを落とすことにより、目が疲れにくくなります。 <small>注</small>
ピクチャーモード	デジタルカメラの画像やWeb閲覧などのグラフィック表示をキレイに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

注：目の疲れ方には個人差があります。

※重要

- ▶メニュー画面などが表示されている場合、画質／入力切換ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力切換ボタンを押してください。
- ▶メニュー画面については、「細かい設定を行う」(→ P.31) を参照してください。
- ▶細かい画質の調整は、画質選択で標準モードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させて調整を行ってください。
- ▶画質の調整項目については、「調整項目の内容」(→ P.32) を参照してください。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、メニュー／決定ボタン、⊖／⊕ボタン、画質／入力切換ボタン、エコ／戻るボタン、を使用します。

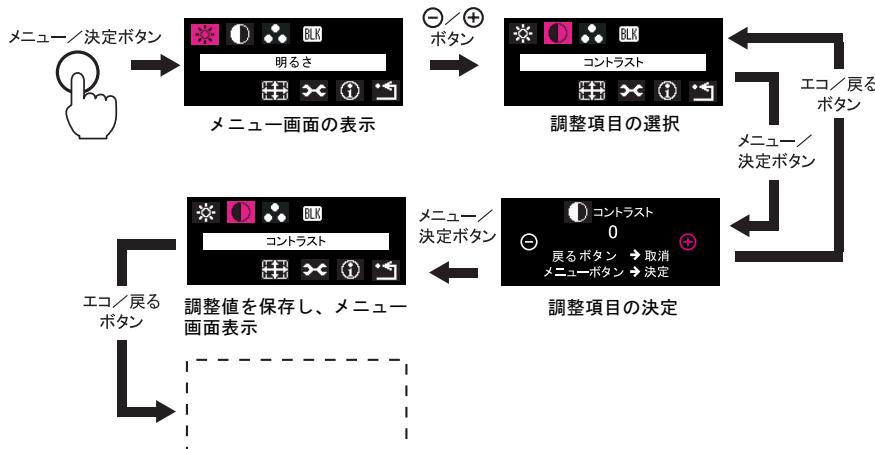
■メニュー画面の基本的な操作

□ボタンの基本機能

メニュー／決定ボタン	→ メニュー表示／決定
⊖／⊕ボタン	→ 選択／調整／音量調整
画質／入力切換ボタン	→ 画質／入力切換メニュー表示
エコ／戻るボタン	→ エコモード切換／取消

□操作手順

例) コントラストを調整する場合



※重要

- ▶各解像度とも保存された内容で画面が表示されます。

POINT

- ▶音量調整、画質選択、エコモード切換のいずれかが表示されている状態で、10秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

■調整項目の内容

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。	○	○
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。	○	○
	カラー	色温度：ディスプレイの色温度を設定します。ネイティブ、5000K、6500K、9300K から選択できます。 ユーザ：画面の色を R（赤）、G（緑）、B（青）単位で細かく調整します。	○	○
	黒レベル	画面の黒い部分を調整します。	○	○
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。	○	—
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。	○	—
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。	○	—
	自動調整	アナログ入力時に画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。実施する場合は画面全体を白っぽい表示にしてから実行してください。 → AUTO セットアップアクション機能（→ P.28）参照	○	—
	ワイド画面切換	各解像度（モード）の画面を画面全体に拡大するか、縦横比を維持して拡大表示するかを選択します。 1680 × 1050、1440 × 900、1280 × 800、720 × 400、640 × 400 および標準表示仕様以外の解像度（モード）の画面を表示している場合は、本メニューを選択できません。 ワイド：画面全体に拡大します。 ノーマル：画面の縦横比を維持して拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。	○	○

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	その他の設定	次のミュート、DDC/CI、TEXT モード切換、ロゴ表示、ボタンロックの設定をします。		
	ミュート	オンにすると、一時的に本製品のスピーカー出力を停止します。 ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。	○	○
	DDC/CI <small>注</small>	VESA DDC/CI をオン / オフします。 DDC/CI は画質モードの「標準モード」または「sRGB モード」選択時に機能します。	○	○
	TEXT モード切換	640 × 400 と 720 × 400 の解像度（モード）を切り替えます。	○	—
	ロゴ表示	起動時のロゴ表示をするかしないか設定できます。	○	○
	ボタンロック	メニュー／決定ボタン、⊖／⊕ボタン、画質／入力切換ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上、メニュー画面が表示されるまで押し続けてください。	○	○
	情報表示	現在設定されている解像度（モード）と周波数、入力コネクタが表示されます。またアイコンでスピーカー、DDC/CI、ワイド画面切換、画質モードの状態を確認できます。HDCP アイコンは、本製品が HDCP 規格に対応していることを表しています（HDCP アイコンはアナログ接続時には表示されません）。	○	○
	リセット	オール：すべての項目をご購入時の設定に戻します。 カラー：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。	○	○

注：本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

■ 音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、⊖／⊕ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。 ⊕ボタンを押すと音量が大きくなり、⊖ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュートがオンの時に音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	○	○

画質モードと調整項目の組み合わせ

	標準モード	sRGB モード	目にやさしいモード	ピクチャーモード
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	×	×	×
カラー	○	×	×	×
黒レベル	○	×	×	×

POINT

- リセット（オール／カラー）はどのモードで実行しても、すべてのモードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

入力切り換えについて

本製品には2つの入力コネクタ（アナログRGBコネクタ：□「アナログ入力」、およびDVIDコネクタ：□「デジタル入力」）があります。

初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示を出しますが、入力を切り換えた場合は、手動で切り換えてください。

1 画質／入力切換ボタンを押し、入力切換を選択して切り換える。



画質／入力切換ボタンを押し、入力切換を選択すると、現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「デジタル入力に切り替えますか?」、「デジタル入力」の場合は「アナログ入力に切り替えますか?」とメッセージが画面に表示されます。

△ 注意

- 画質／入力切換ボタンで切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示されます。その後、本製品は省電力状態になります。このときは、画質／入力切換ボタンで入力を選び直してください。

8 省電力機能について

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの省電力状態に移行します。(省電力機能については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。)

		最大時	通常時	省電力時			電源ボタン 「オフ」時
消費電力		45W	42W	0.9W			0.7W
入力信号	映像	あり	あり	なし	なし	なし	—
	水平同期 信号	あり	あり	なし	あり	なし	—
	垂直同期 信号	あり	あり	あり	なし	なし	—
動作	画面表示	表示あり	表示あり	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし
	電源ランプ	緑	緑	オレンジ	オレンジ	オレンジ	消灯

POINT

- ▶「最大時」の値はスピーカーを使用している場合、「通常時」の値はスピーカーを使用しない場合です。
- ▶電源ボタン「オフ」の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで避けることができます。

■ACPIについて

ACPI の設定が高度 (ACPI S3,S4) に設定されている場合、省電力動作時には、パソコン本体のアウトレットから電力が供給されなくなります。

詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

POINT

- ▶「ACPI」とは「Advanced Configuration and Power Interface」の略で、外部に接続した周辺機器の電力管理までOSで制御する電力管理の規格です。

9 こんなときには

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→P.42）にご相談ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく、奥まで確実に接続してください。	「ケーブルを接続します。」(→P.20)
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→P.14)
電源ランプが消灯し、キーボードやマウスが反応しない	パソコン本体の省電力機能の設定が高度（ACPI S3,S4）になっている。	パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	パソコン本体のマニュアル
電源ランプがオレンジ色に点灯している メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能について」(→P.35)
	アナログケーブルまたはディスプレイケーブルが本製品またはパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品またはパソコン本体にアナログケーブルまたはディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」(→P.20)
電源ランプは点灯するが、画面が表示されない 場合によっては次のメッセージも表示される 「規定外の信号です」「入力信号がありません」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→P.47) およびパソコン本体のマニュアル
	アナログケーブルまたはディスプレイケーブルが、本製品またはパソコン本体に正しく接続されていない。	本製品またはパソコン本体にアナログケーブルまたはディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」(→P.20)
	パソコン本体の信号と本製品の設定があわっていない。	パソコン本体の信号と本製品の設定をあわせてください。	「標準表示仕様」(→P.47) およびパソコン本体のマニュアル
入力が切り換わっている。	入力切り換えを行ってください。	「入力切り換えについて」(→P.34)	

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
画面が暗くなったり	エコモードが「オート1」「オート2」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、エコモードを「オフ」に設定してください。	「エコモード」機能について」(→ P.29)
	明るさセンサーが何かに覆われている。	明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。	「各部の名称と機能」(→ P.14)
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
	液晶パネル内部の蛍光管が、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換(補修用性能部品単位)させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」、または購入元にご連絡ください。	「お問い合わせ先」(→ P.42)
画面いっぱいに表示されない	ワイド画面切換が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切換を「ワイド」に設定してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
	画面位置の調整が適切でない(アナログ信号入力時)。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください(アナログ信号入力時)。	「調整項目の内容」(→ P.32)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	エコモードが「オート2」、または画質モードが「ピクチャー」モードに設定されている。	モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.30) 「エコモード」機能について」(→ P.29)
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
	パソコンの設定が標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.47)およびパソコン本体のマニュアル
	パソコンの設定が640×400または720×400の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を640×400、720×400以外の解像度(モード)に変更してください。	パソコン本体のマニュアル
ワイド画面切換が選択できない。	パソコンの設定が、ワイド画面切換できない解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を、標準表示仕様の解像度(モード)にしてください。ただし、次の解像度(モード)は除きます。 1680×1050、1440×900、1280×800、720×400、640×400	「標準表示仕様」(→ P.47)およびパソコン本体のマニュアル
格子状の表示画面がちらつく(アナログ信号入力時)	フォーカスがあつっていない。	フォーカスを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)

カラー液晶ディスプレイ・22ワイド(VL-220SSW) オンラインマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
縦帯状の縞模様が見えることがある(アナログ信号入力時)	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」(→P.32)
画面がはみ出る(アナログ信号入力時)	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」(→P.32)
	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→P.47)およびパソコン本体のマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→P.47)およびパソコン本体のマニュアル
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	「パソコン本体と接続する」(→P.20)
文字の大きさが場所によって異なる	1680×1050よりも低い解像度(モード)になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の大きさが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を1680×1050に設定してください。	「標準表示仕様」(→P.47)およびパソコン本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない(アナログ信号入力時)。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください(アナログ信号入力時)。	「調整項目の内容」(→P.32)
電源投入直後やWindowsの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	パソコン本体のマニュアル
画面を切り換えると前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	パソコンの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある(もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→P.14)

カラー液晶ディスプレイ - 22 ワイド (VL-220SSW) オンラインマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」 (→ P.30)
	エコモードが「オート 2」に設定されている。	エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「エコモード」機能について (→ P.29)
画面が消えたり、ノイズが出たりすることがある（デジタル信号入力時）	デジタル入力信号が適切でない。	パソコン本体のデジタル出力仕様（1680 × 1050 の解像度サポート）を確認してください。	パソコン本体のマニュアル
2台以上のマルチディスプレイを表示したとき、画面の色調が若干異なって見える	装置の個体差によるもの。	画質モードを sRGB に設定、あるいはカラーを調整してください。	「画質を選ぶ」 (→ P.30) 「調整項目の内容」(→ P.32)
画面の明るさや色合いが突然変わる	「富士通モニタユーティリティ」をインストールした本製品を 2 台同時に接続し、ディスプレイの表示を切り換えて使用している場合、USB 接続されているディスプレイ側で「富士通モニタユーティリティ」が有効になっている。	USB 接続している側のディスプレイに表示を切り換え、「富士通モニタユーティリティ」を終了してください。	パソコン本体のマニュアルおよび「富士通モニタユーティリティ」のマニュアル

画面調整ができない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを3秒以上(メニュー画面が表示されるまで)押し続け、ボタンロックを解除してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「失敗しました。マニュアルをごらんください」	画面全体が極端に暗い色を表示している状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップ アクション機能について」(→ P.28) 「調整項目の内容」(→ P.32)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度(モード)を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「調整項目の内容」(→ P.32)、「標準表示仕様」(→ P.47)およびパソコン本体のマニュアル
メニュー画面の自動調整が選択できない	デジタル入力でパソコンと接続している。	デジタル入力でパソコンと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「調整項目の内容」(→ P.32)
画面上に「その操作は無効です」と表示される	「富士通モニタユーティリティ」の設定ウィンドウを表示中である。	「富士通モニタユーティリティ」の設定ウィンドウを閉じてください。	「富士通モニタユーティリティ」のマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフしてください。	「調整項目の内容」(→ P.32)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、 / ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(→ P.14)
	画面の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	パソコン本体のマニュアル
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている(画面右下の通知領域にと表示されている)。	画面右下の通知領域のをクリックして音量つまみを表示し、をクリックしてにしてください。	パソコン本体のマニュアル
	モニタが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能について」(→ P.35)
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とパソコン本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「パソコン本体と接続する」(→ P.20)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

* 故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

- 「富士通ハードウェア修理相談センター」
 - ・ 通話料無料 0120-422-297
 - ・ お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

[個人のお客様]

- 「故障や修理に関する受付窓口」
 - ・ 通話料無料 0120-926-220
 - ・ お問い合わせ時間 24 時間・365 日対応

* 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

■ 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・ 通話料無料 0120-950-222
- ・ お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)
- ・ おかげ間違いないよう、ご注意ください。
- ・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・ システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていた
だく場合があります。

10 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

※ 重要

▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。

- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含んだもの
- など

▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

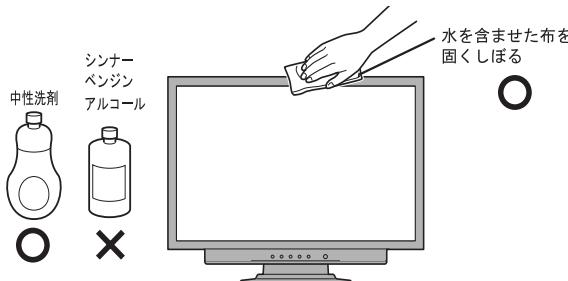
□ 画面（液晶パネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



11 リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- ・法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

- ・個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ (<http://azby.fmwworld.net/recycle/>) をご覧ください。

12 有寿命部品について

- ・本製品のLCDパネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>

LCDパネル、アルミ電解コンデンサ

13 仕様

本体仕様

項目	仕様	
接続 PC 本体	FMVシリーズ、AT互換機	
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン)	映像信号：アナログ（セパレート同期信号/TTL） 0.7Vp-p（正極性）、 75Ω インピーダンス ^{注1}
	DVI-D コネクタ (DVI-D)	映像信号：デジタル（TMDS/HDCP対応） ^{注1}
	オーディオ入力端子 (ϕ 3.5 ステレオミニジャック)	音声信号：アナログ
	USB (シリーズ B)	USB1.1
表示部	画面サイズ	22型（対角56cm）
	表示寸法	474mm (H) × 296mm (V)
	液晶パネル	TFTカラー液晶
	解像度（モード）	1680×1050 ドット
	画素ピッチ	0.282mm×0.282mm
	表示色	1677万色
	輝度	300cd/m ² (Typ.)
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	5ms
機能	視野角	上下160° 左右160°
	入力対応解像度	640×400、720×400、640×480、800×600、1024×768、1280×800、1280×1024、1440×900、1680×1050
	チルト	下0～上20度
	スイーベル	左右各45度
電源	壁掛け	100mm×100mm (VESA規格対応)
	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)
	消費電力	最大時 ^{注2} 45W 通常時 ^{注2} 42W (エコモード「オン」時：約25W) 省電力時 2W以下 電源ボタン「オフ」 ^{注3} 1W以下
	スピーカー	最大出力 1W×2 (ステレオ) 8Ωインピーダンス 周波数特性 480Hz～20kHz 0.5W出力時
	外形寸法	506mm (W) × 211mm (D) × 397mm (H)
使用環境	質量	約4.6kg (本体) 約4.1kg (表示部)
	温度	5～35°C
	湿度	10～90% (RH) (結露しないこと)

注1: 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI(Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注2: 「最大時」の値はスピーカーを使用している場合です。

「通常時」、エコモード「オン」時の値はスピーカーを使用しない場合です。

注3: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで避けることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の20種類の解像度（モード）の調整値が登録されています。（走査方式がインターレースの信号は対応していません。）

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

No	解像度 (モード)	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	640 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
3	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
4	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	
5	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	
6	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
7	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	
8	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	
9	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
10	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	
11	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	
12	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	○	○
13	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	○	○
14	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	○	○
15	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○	
16	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	○	○
17	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	○	○
18	1680 × 1050	64.7kHz	60Hz	◎	◎
19	1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	○	○

※重要

- ▶接続するパソコンの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面の自動調整（アナログ信号入力時のみ有効）を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の画面位置（→P.32）とフォーカス（→P.32）で調整してください。パソコン側での微調整は行わないでください。
- ▶上表以外の解像度（モード）にパソコンを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶1680 × 1050 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバータで表示されたNTSC信号については表示品位を保証するものではありません。
- ▶640 × 400 と 720 × 400 の解像度（モード）はメニュー画面から手動で切り換えてください。（→P.33）

コネクタ仕様

■ディスプレイコネクタ

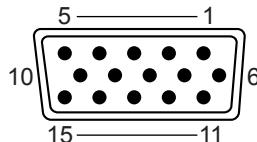
□ アナログ（ミニD-Sub15ピン・コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R(映像)	(6)	アース	(11)	NC注
(2)	G(映像)	(7)	アース	(12)	DDC DATA
(3)	B(映像)	(8)	アース	(13)	水平同期
(4)	NC注	(9)	NC注	(14)	垂直同期
(5)	アース	(10)	アース	(15)	DDC CLOCK

注 NC: 未接続

端子配列図



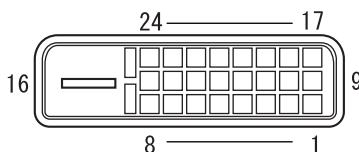
□ デジタル(DVI-Dコネクタ)

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC注	(12)	NC注	(20)	NC注
(5)	NC注	(13)	NC注	(21)	NC注
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	A-VS	(16)	HPD	(24)	TXC-

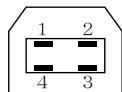
注 NC: 未接続

端子配列図



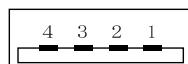
■ USB コネクタ

装置側 (シリーズB)



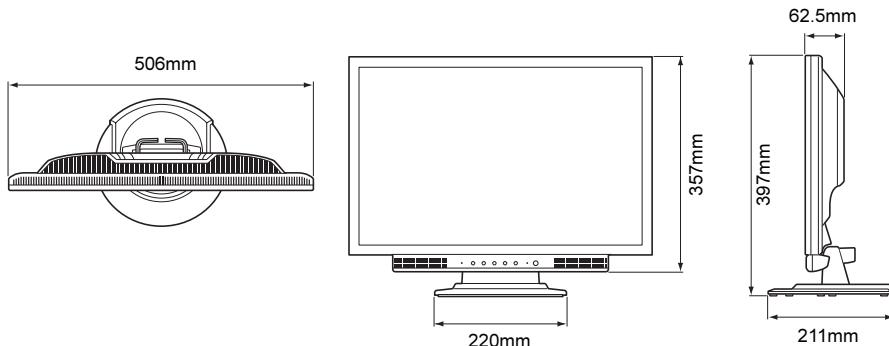
1 : Vcc
2 : D-
3 : D+
4 : GND

パソコン側 (シリーズA)



1 : Vcc
2 : D-
3 : D+
4 : GND

外形図



**FMV シリーズ
カラー液晶ディスプレイ -22 ワイド (VL-220SSW)
オンラインマニュアル**

B5FY-8901-01 Z0-01

**発行日 2008年10月
発行責任 富士通株式会社**

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。